

中村城跡周遊遊歩道 ぶらり散歩

相馬を歩こう!!第4弾

相馬市千客万来館

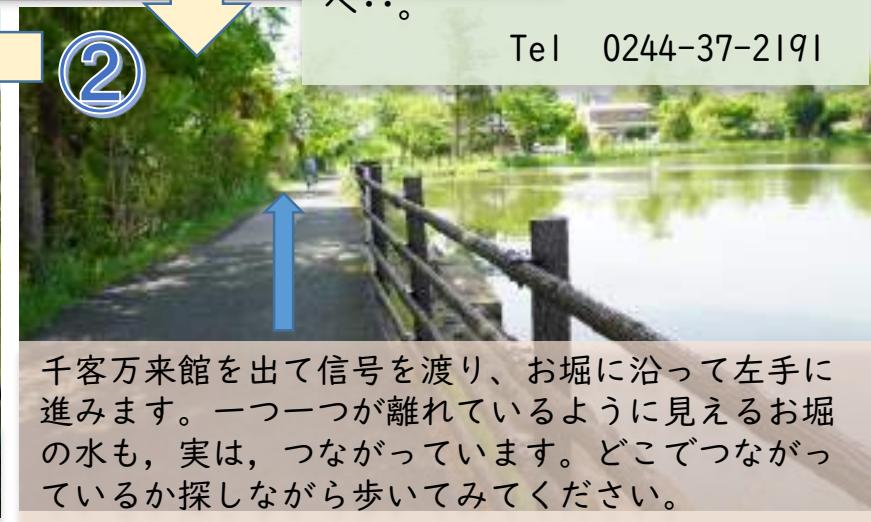


福島県指定史跡中村城跡の周囲を巡る遊歩道。今回は相馬市千客万来館をスタート・ゴールにして御案内します。この施設には、相馬市の観光復興御案内処と観光協会のスタッフが常駐しています。まず、ここで最新情報を入手していざ出発!!駐車場も8台分あります。

相馬市千客万来館
Tel 0244-26-4848

中村城跡をもっと詳しく知りたい方は相馬市歴史資料収蔵館へ…。

Tel 0244-37-2191





中村城は、相馬地方を治めていた相馬氏が、1611年に居城を南相馬市小高から相馬市中村に移す時に造営しました。この大手門は、高麗門という建築形式で、1649年に作られました。1992年に事故で全壊後復元されたものです。

⑤



⑩

まっすぐ進むと中村神社の参道。今日は、右に曲がって本丸跡を回っていきましょう。

⑧



⑥

大手門をくぐると柵形になっています。勢いよく入ってくると目の前の武者落としの池(通称泣面堀)の餌食に・・・落ち着いて曲がって案内板を目指しましょう。パンフレットもあります。



⑨

北に進むとまた柵形です。その先にはまた、お堀が待っているので左に進み、中の門跡を通り過ぎます。

⑦

左手に南二の丸(通称、長友)重臣の屋敷や馬屋(厩)後に、常小屋(営繕所)が造されました。右手に馬屋・馬場があった東三の丸。大きなイチョウの木が数本あり秋は黄色がきれいでです。

別名「馬陵城」とも呼ばれました。比高15mほどの小規模な平山城ですが、様々な工夫により、東北の雄伊達62万石と対等に渡り合いました。400年前の町並みはどんな様子だったのでしょう？



←樹齢約500年のフジ棚。
(2020年5月13日撮影)

→天明・天保の飢饉の後、
相馬藩を救った報徳仕法。
市内には、これにまつわる
記念碑が多くあります。



規模は小さいのですが、城内には
たくさんの中庭が見受けられます。
川石の野面石(自然石)を丁寧に組
んでいます。角石には、美しいそ
りが見られるところもあります。

相馬氏の始祖『師常（もうつね）』
公を御祭神とし、1880年創建さ
れた相馬神社。現在その社務所があ
るあたりに、天守（1670年雷で焼
失）を持つ3層のお城がありました



18

東の赤橋に対し、西は黒橋です。



11



12

内堀の間の細い通路を
本丸に向かいます。藩
主が住む東二の丸と本
丸を結ぶ赤橋が見えま
す。赤橋を渡ると本
丸をぐるりと囲む鉢巻石
垣が始まります。

23

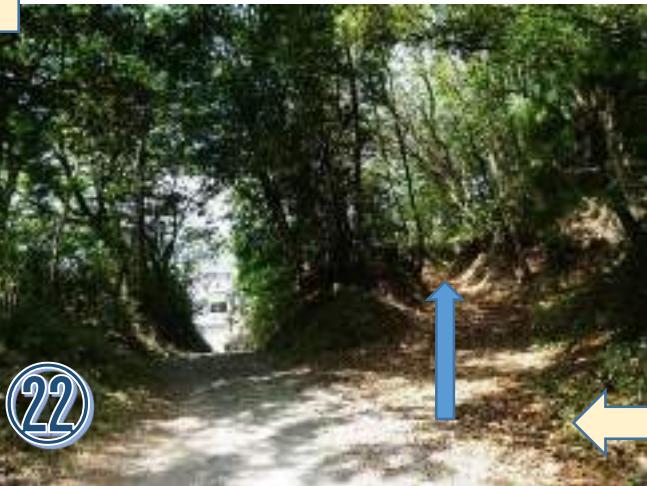


遊歩道の途中には、かつて家臣の屋敷や祠(ほこら)などがありましたが、今は雑草に埋もれてしまっています。

24



柵形を越えた後、橋を恐る恐る渡ります。昔は落ちたんだろうな~



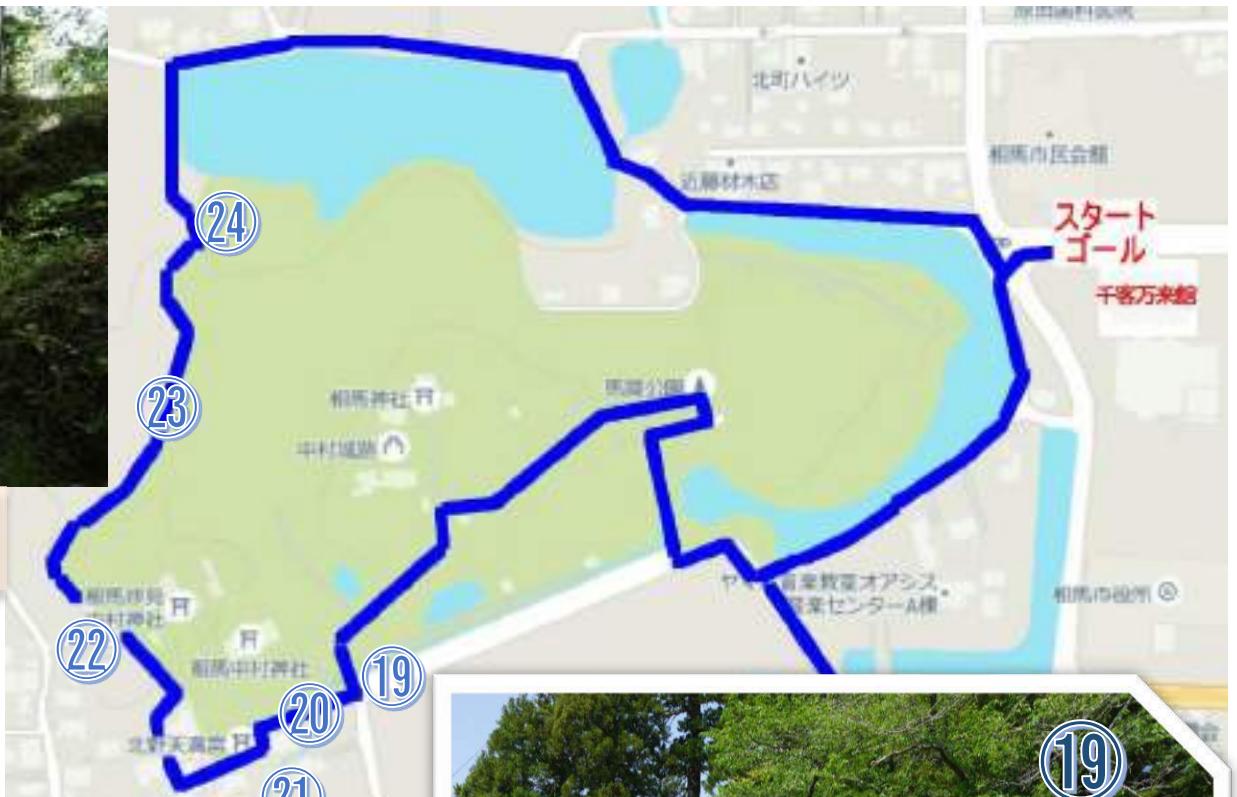
22

左は車通り。薄暗い森の中へ足を進めてください。夏は虫除けをお忘れなく。



本殿に向かう階段を横目で見つつ、北野天満宮の脇の道を西へ進みます。

24



22

21

20

19

20

19



運が良ければこんな出会いも..



国重要文化財相馬中村神社。1643年、相馬中村藩第2代藩主相馬義胤公によって建立されました。相馬野馬追では、総大将の出陣式が行われる場所です。

26



27



遊歩道を出て右折後20mほど進むと、左手に軽い上り坂があります。ここは、岩崎堀と呼ばれ、丘の上には、家臣の岡田氏の屋敷があつて北の守りを固めていました。
(案内看板あり)

ちょっと寄り道



25



林から出て明るくなったらゴールは間近です。土手の桜並木の下を進み、突き当たりを右へ。

ここから

左手の北三の丸は、藩主家の居宅となっています。規模は小さいですが、石垣や土塁があちこちに残っています。探してみてください。

28



29



30



二の丸球場脇の内堀まで戻ってきました。ところで、蓮池との水位の違いに気がつきましたか？



中村城跡周辺を巡る、1時間・6000歩ほどの小さな旅でした。中村城跡をもっと詳しく知りたい方は『相馬市歴史資料収蔵館』へ…。Tel 0244-37-2191

Goal